

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	わかかさ(ポブラ)			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 27日		～	2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2025年 1月 27日		～	2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会に出るための様々な経験ができる	公共交通機関を使った外出活動・同法人の事業所との交流・買い物活動・調理活動・キャンプなど。 今の年齢だからこと楽しめる活動、社会に出るまでに経験したい活動などを意識的に取り入れている。	日々の取り組みや行事ごとに子どもたちは変化や成長があるはずなので、これまで行っていた活動も今いる子どもたちとどう進めていくのか検討し、活動後にはその都度振り返って次のねらいを定め、活動を充実させていきたい。
2	子ども同士の関わり合いを大切にしている	日々の当番活動では、それぞれの役割を決めてそれを達成することで、ポブラでの流れができるようにしている。当番が思うようにできなくても、誰かが様子を見に行き声をかけたり手伝ったりできるような関係作りをしている。この日々の積み重ねが外出活動やキャンプなどで活かされ、個々の成長にもつながっていく。	毎年、新しくメンバーに加わる子ども、18歳で退所する子どもがいる。その年のメンバーによって、どんな手法や活動によって関係作りができるかは変わるので、その都度子どもたちの様子を見ながら事業所内で相談して進めていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数が少ないため、子ども同士のかわり合いが少なくなっている	これまでは中高生で定員が埋まっていたため基本的に小学生の受け入れをしていなかったが、高校3年生で子どもたちが退所していく中、中学生からの利用者確保が難しくなり、利用児が減っている。	小学生の受け入れも検討していく。 今以上に地域の行事に参加するなどして事業所を知ってもらう活動や、SNSなどを活用して活動内容の発信をしていく。
2			
3			